

部局名

都城ユネスコ協会青年部

担当: (桐山 遥)



テーマ

子どもと学ぶSDGs～県内大学生と地域で取り組むSDGs～

本団体は、2020年に都城ユネスコ協会の青年部として設立しました。メンバーは現在12名で、宮崎大学の学生だけでなく、県内の複数の大学の学生によって構成されています。様々な学部にも所属する学生がいるため、それぞれの専門性を活かして、お互い学び合いながら活動を行っています。

プレーパークは、「自分の責任で自由に遊ぶ」ことをコンセプトに、大人の決めたプログラムに沿って遊ぶのではなく、様々な素材と本物の道具を自由に使って遊びます。そして、自然の中で、五感や「生きる力」を育てます。

私たちは小松台プレーパークと連携し、様々な体験や遊びの中で、SDGsの啓発を行っています。

特色ある取組



この3年間で、自分たちで活動を考え、様々な実践を行ってきました。例えば、SDGsについて知ってもらうための「SDGs神経衰弱」、再生利用を実体験するための「古紙でかはがきづくり」、水の大切さについて実感し、考えるための「水育」などがあります。

このように、子どもが遊びの中でSDGsに気づくことのできる活動を考え実践し、子どもと一緒にSDGsについて学びました。



ハガキづくり



SDG s 神経衰弱



水遊び




期待される成果・効果



社会の変化やコロナ禍の影響もあり、人や地域とのかかわりが薄れていることがあげられます。この活動では地域と連携した活動にすることで、子どもや学生、大人、団体等とのつながりが可能になります。

SDGsの目標を達成するには、継続的な取り組みが必要となります。この点において、未来を担う子どもたちに向けて活動を行うことで、SDGsへの興味・関心をもってもらい、将来的に目標達成につながると考えられます。

さらに、子どもの視点に立って活動を考え取り組むことで、地域や子どもの実態について理解をするとともに、自由に遊ぶことの大切さを学ぶことができます。

参考URL 
https://instagram.com/mua_youthclub?igshid=OGQ5ZDc2ODk2ZA%3D%3D&utm_source=qr

(現在、一緒に活動を盛り上げてくれる仲間を募集しています！)

・NPO法人ヒミツキチ <https://www.himitsukichi.org/>

